

令和6年度 第6回いなべ市総合計画審議会 会議録

会 議 名	令和6年度 第6回いなべ市総合計画審議会
開催日時	令和6年12月10日（水）14:00～16:00
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2, 3, 4
出席者	【委員】20名 丸山康人（会長）、林伸一（副会長）、佐々木文昭、田中佳奈、嶋田義光、服部純子、東海林玲子、福本美津子、中村弘樹、一木尚子、小林久里子、位田あけみ、三輪孝、高木修司、山本たか代、伊藤和雄、伊藤六栄、伊藤章子、近藤雄司 欠席 相田直隆 【事務局】19名 山下正史（副市長）、近藤栄人（総務部長）、大川洋海（都市整備部長）、伊藤ひろ（市民部長）、岩田長司（環境部長）、岡真水（福祉部長）、出口美紀（健康こども部長）、若松辰彦（農林商工部長）、太田東洋（建設部長）、寺本靖彦（水道部長）、伊藤功（教育部長）、三好宏尚（会計管理者）、市川久春（議会事務局長）、中村政紀（監査委員事務局長）、出口和典、（企画部長）、小谷直仁（政策課長）、児玉吏（政策課）、堀田彰宏（政策課）、西尾みずき（政策課） 【オブザーバー】小林直樹（㈱ジャパンインターナショナル総合研究所）
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 説明及び審議事項 （1）いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて…資料1 （2）基本構想について…資料2 資料3 4. 答申について 5. 閉会
配布資料	資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュール 資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想の構成案 資料3…第3次いなべ市総合計画基本構想（案）
公開、非公開の別	公開
議 事 概 要	
1. 開会 2. 会長あいさつ 【丸山会長】 ・基本構想の審議も3回目となります。これまでと比べるとかなり良い内容になってきました。事務局も大変だったと思いますが、そのくらい委員の皆さまから貴重なご意見をたくさんいただき、おおよそ反映してきたということです。細かな分野のご指摘で、基本構想では反映でき	

ないものは、来年度、基本計画の中に反映していきます。本日が最終の審議となりますが、本日いただいたご意見の反映については、私の方で最終確認するようになりますので、よろしくお願いします。それでは、まず、スケジュールの確認をお願いします。

3. 説明及び審議事項

(1) いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて

【事務局】

- ・資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて説明。

【丸山会長】

- ・ありがとうございます。スケジュールを確認させていただきました。では、基本構想については、全部まとめて説明をいただいて、委員の皆さんからご了解をいただくということにしたいと思いますのでよろしくお願いします。それでは、事務局から、(2)基本構想案について説明をお願いします。

【事務局】

- ・資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想の構成案
- ・資料3…第3次いなべ市総合計画基本構想（案）について説明。

【丸山会長】

- ・ありがとうございます。委員の皆さんの意見を反映した形で、最終案を作成していただきました。何かご意見があれば、どなたからでも結構ですのでよろしくお願いします。

【伊藤六栄委員】

- ・6ページの人口のグラフですが、以前、他のグラフで指摘があったのと同様に、こちらも凡例を大きくするように修正してください。次に14・15ページに記載されている重要度と満足度の5段階評価と、29ページの市民幸福度の10段階評価について、それぞれ表現方法が違うので、統一していただければと思います。よろしくお願いします。

【事務局】

- ・ありがとうございます。6ページの凡例は、大きくなるように修正します。14ページの5段階と29ページの10点満点の表記の統一につきましては、14ページは、「重要（満足）、まあ重要（満足）、どちらとも言えない、あまり重要（満足）でない、重要（満足）でない」という5段階になっています。一方で、29ページは、10点満点中、何点かという質問になっていますので、表現の統一ではなく、14ページの5段階評価についての説明を追加し、それぞれの内容が分かるように説明させていただきます。

【丸山会長】

- ・他に何かご意見はありますか。

【福本委員】

- ・44 ページ以降の「各分野における主な個別計画」をみて、基本構想の内容に対応しきれていないのではと感じました。例えば、39 ページの基本構想の「(1) 公共交通」では、全ての市民がより移動しやすいデマンド交通等の検討、という内容がありますが、45 ページ「各分野における主な個別計画」の「(1) 公共交通」で掲載されている個別計画は「北勢線活性化基本計画公共交通」の1つだけとなっています。これでは、基本構想の内容に対応できないと思いますが、ということなのでしょうか。

【都市整備部長】

- ・デマンド交通を検討していくという目標を計画に入れまして、「各分野における主な個別計画」に、その計画が入っていないのではないかとご意見をいただきました。今後、デマンド交通とか、いろんな交通政策を推進する上での大きな計画として、地域公共交通計画というものがありまして、今後、そういった計画を、策定した際には、この「各分野における主な個別計画」の中に上がっていくという形になります。大きな計画ですので、こういった形で別途で審議会等も進めなければなりませんので、現時点では、ここへ上げる段階ではありませんので、今後、検討が進んだ過程において、この中に組み入れていくというふうに思っております。

【丸山会長】

- ・基本構想が新たに見直されると、それに基づいて、この後、基本計画の見直しが行われます。今、基本構想の見直しが図っており、この後、既存の計画を見直しへと反映していくという流れになります。44 ページ以降の「各分野における主な個別計画」に掲載されているのは、現在、策定済みの既存の計画です。既にある計画を、参考に一覧として載せているということでご理解ください。他に何かありますか。

【近藤委員】

- ・32 ページ、33 ページですけれども、土地利用構想で、今回はイメージ図を追加していただきました。41 ページの第6章「にぎわい・愛着 創生のまち」で、特に観光のところは、インバウンドとか書いてあるのですが、そういった観光の内容が、土地利用構想のイメージ図から読み取れません。これを見た人が、こういう観光地ができるのだとか、そういったことがわかるように、わくわくするような、これから楽しむことができそうだな、人が集まりそうだな、というのがわかるとういかなと思うのですが、いかがでしょうか。

【丸山会長】

- ・これは、都市計画マスタープランに基づいたイメージ図で、現行の都市計画マスタープランを策定したのが10年ほど前になります。今後、総合計画の意見を踏まえた上で、修正をしていくということになろうと思いますから、今の時点で、土地利用構想のイメージ図に観光の内容を入れ込むのはかなり難しいと思います。現行の都市計画マスタープランに基づいたイメージ図だということをしっかりと明記しておかないと、この段階で新たにつくったものと勘違いしてしまうから、それはきちんと書いておいた方がいいかもしれません。対応をお願いします。

【伊藤章子委員】

- ・29 ページの幸福度ですが、一般市民と中学生は数値で書いてあって、これは、これまでの結果があるから、目標も数値で書いてあって、その後の30 ページの、「参加した市民の割合」に関

しては、これまでの結果があるのに、目標を数値ではなく「増加」という書き方をされていて、統一性がないかなと思うのですがいかがでしょうか。

【事務局】

- ・この審議会に入るまでに、事前に会長、副会長にお話をさせていただき、当初は全て「増加」としていたのですが、何も無いのはどうかということで、今回、一般市民と中学生は過去のデータがありますので、それを見ながら、一般市民は下がっている傾向にありますけれども、やはり高めていく必要があるのではないかとということで、10年前の6.78点を目標とさせていただいていますし、中学生については上昇傾向ですので、こういったことを大切にしたいという思いから設定しました。高校生については過去のデータがないので「増加」としています。市民参画については、この数値は、実際、どんどん下がっていて、価値観の多様化や余暇時間の過ごし方が変わって来つつある中で、これを数値にどうしたらいいのかなという迷いがあり、とにかくこれだけ今下がり続けているんだから増加させたいという気持ちで増加という表現をさせていただきました。

【丸山会長】

- ・当然増加を目指す、ということですが、今回は数値では表せないものもあるということでご理解ください。

【小林委員】

- ・質問ではないのですが、今回の説明を聞かせていただいて、すごくわかりやすく、何回かにわたって皆さんの意見であったりとか、自分も小さなことですが、意見を述べさせていただいたところを、しっかりと議論していただいて、また、新たな意見に対しても対応していただいたりとか、協議内容を変更していただいているのがすごく伝わってきて、私としてはすごく丁寧に細やかに対応していただいたなと思って、ちょっと感動して聞かせていただきました。ありがとうございました。

【事務局】

- ・ありがとうございました。

【伊藤六栄委員】

- ・まず35ページ、総合的取組事項の中の4番目、ゼロカーボンシティという文言が入っていますが、42ページでは、チャレンジカーボンニュートラルの推進となっており、カーボンニュートラルという言葉とゼロカーボンという言葉の定義を明らかにしておいてください。また、34ページの大綱ということで、基本理念に共通の視点というのと書かれていますが、市民が主役のまちづくり、いなベブランド、それから定住移住交流の促進ということですが、前回11月の審議会ではなかった項目ですので、非常に重要な項目として、この12月の審議会に上がってきたということは、この定住移住交流促進をやるということで、他にこういうことを打ち出している内容が何かあるのか聞かせてください。

【事務局】

- ・今の定住移住交流の促進ですが、56ページをごらんいただきたいのですが、伊藤委員がおっしゃられたように、定住移住交流促進というものを進めている中で、3次から共通目標を共通の

視点に変えたということで、11月の審議会で説明させていただいたように思いますが、突然入れたわけではなく、もともとあった内容でございます。42ページのチャレンジカーボンニュートラルチャレンジ、カーボンニュートラルの推進ということで、こちらはカーボンニュートラルを目指す上での計画というものがございまして、その計画の名称ですが、チャレンジカーボンニュートラルということで、ゼロカーボンシティを目指していきますという位置づけになり、名称を変えることはできないものです。

【丸山会長】

- ・理解していただけるように、注釈をつける等の対応をお願いします。定住移住については、別途、定住自立圏の計画も並行して進めているようですが、こちらはどうなっていますか。

【事務局】

- ・パブリックコメントを11月1日から30日まで実施しています。

【丸山会長】

- ・定住自立圏の計画は、全国の地方自治体で取り組まれていて、いなべ市は近隣市町の東員町、菰野町と定住自立圏を組んでいて、その中の中心自治体となっており、これも総合計画に位置付けているということになります。

【伊藤六栄委員】

- ・37ページの2行目ですが、本市の貴重な文化財については適切に保護する一方で、新たな史跡や文化財の発見のため、積極的な調査を行いますということで、文化財については保護するということに書かれているのですけれども、実は文化庁では、保護は今までしてきたけれども、これからそれを活用してくという方向性が入ってきておりますので、活用という意味合いも記載してください。

【丸山会長】

- ・以前の審議会でも位田委員が発言されていたと思うが、歴史文化を再発見しながら、観光や交流、教育に生かしていくことが重要ですので、伊藤委員のご意見の文言の追加については、何ら問題ないと思いますので、追加をお願いします。

【位田委員】

- ・交流人口や観光、子ども真ん中といった各所に歴史文化の内容を記載してもらって本当にうれしく思いました。ありがとうございました。

【山本委員】

- ・何度も審議を重ねられて、本当に何度も直してもらえていて、もう終わるんだなと思っていました。第3次総合計画ということで、第2次以上の計画を期待しておりますけれども、本当に初歩的なことですけど、第2次と同じような冊子ができるのですか。

【事務局】

- ・令和8年の4月に、第2次と同じような冊子が新たにできます。

【山本委員】

- ・みんなが楽しんで読めるようなものにしてほしいと思います。これは、皆さん各戸に配られますか。

【事務局】

- ・職員は全員持っており、各戸には配布しません。ホームページに掲載し、広報誌 Link やいなべ 10 で紹介します。また、中高生にはダイジェスト版を配布します。

【山本委員】

- ・前回のものを見ると、ちょっと内容が固いなと感じますので、読みやすく、いろんな人に伝わるようにしてほしいです。出来上がりを期待しています。

【丸山会長】

- ・前回の審議会でマンガ等の意見も出ている。冊子になるのは1年以上先になるが、検討してください。また、全戸配布はコストがかかって大変だが、希望者には販売している等、工夫している自治体もあるので、参考にしてください。

【小林委員】

- ・この審議で最後ということで、いろんな立場のいろんな団体からこの会議に参加してきていただいていますので、それぞれ一言ずついただくのはいかがでしょうか。

【丸山会長】

- ・まず、審議を終えてから時間があればそうしましょう。

【林副会長】

- ・確認書はですけれども、34 ページの共通の視点で、この3つの項目の説明はどこかで触れられていますか。大事なところだと思いますので、簡単でよいので説明をつけてください。

【事務局】

- ・説明を追加します。

【企画部長】

- ・今回、説明書きはないということで、基本構想の26 ページですが、確かにここがわかりにくいという意見が前回もございましたので、市民と行政が共有するという文言があるのですが、ちょっとここがまだ弱いということであれば、もう少し説明を検討します。全体の中で市民と行政で共有する視点という形で、明確にこの下の段落を変えて記載をした方がいいのかなと思いましたので、そういった方向で事務局において検討し、会長にご確認、ご承認をいただくという形にしたいと思います。

【丸山会長】

- ・そういうことで、よろしいでしょうか。それでは、ご承認をいただいたということで、ありがとうございました。この後、先ほどのスケジュールにありましたように、13 日には答申の方をさせていただきます。

【事務局】

- ・年明けにはパブリックコメントを控えています。そして、本日の内容について、4月20日に市議会の定例会に出して、特別委員会というものを設けて情報を報告します。パブリックコメントは、市のホームページ上で公表させていただきたいと思います。

【企画部長】

- ・それでは、先ほどご意見がありましたように、皆様から一言ずついただければと思いますが、いかがでしょうか。感想でも、我々への応援のメッセージでも結構ですので、願いたします。

【一木委員】

- ・初めて参加させていただいて、あまりに難しくて、事前に資料を見ても、なかなか理解ができずという状態でしたが、幸福度をみると中学生がだんだん上がってきていてうれしく感じました。ただ、不登校や別室で学ぶ子どもも多い、また、性についての悩みの相談も多いです。今も4名の相談に乗っており、相談できない子どもも多いのではないかと考えています。アンケートの設問で性別を聞くのは、こうした子どもたちにとってはすごく負担なので、無い方がよいと思いました。

【服部委員】

- ・私は、子育て真最中です。こんな会議があるなんて全然知らなくて、初めて参加しているのですけど、すごく丁寧に、細やかに作っていることを実感しました。毎回、内容を持ち帰って、周りの人たちといろいろ話しているのですけど、その人たちが読んでくれたら一番いいのですけど、そこに届くのはどうしたらいいかなと考えています。周りの保護者としやべっている中で、本当に、子どもももちろんですし、親の支援もない。市民が主役のまちなので、市民さんが何か動けるというか、ボランティアとか悩みに対して、いや、私たちもこうだったよ、と話せるような場があればよいなと思います。これからは、行政だけでやっていくのはすごく大変だと思っていて、なんでも行政任せではなく、行政に言ってもどうせ無理というのではなく、一緒に頑張れるように行政と一緒に進んでいこう、そうと思っています。市民の中でも言っても無理だろう。何とかみんなと一緒に頑張れるようなまちになっていけばいいなと思うんです。これから人口も減ってし。行政職員もすごく仕事も大変で、頑張ってもらっていて、市民も自発的に動けるようになったらいいなと思っています。これからもよろしくお願いします。

【東海林委員】

- ・私も先ほど一緒に、この会議で参加させていただいて、本当に難しいというか、皆さんのように1字1句を読み解くというか、それができてないので、皆さんの意見を聞いて、そうだなって感心するというか、何とか納得しています。自分はそこまでできなくても、やっぱりいろんな方がこうやって参加しているということで、この前もあったと思いますが、いろんな意見が決まってくっていくので、大事なのだなと思っています。私は子育てにかかわらせてもらっているのですが、今、本当にお母さんたちが困った状態、子どもを保育園に入れなかったりとか、保育士が不足していて、もっと入れてあげたいけど入れてあげられないで、保育ができない。だから他のところに回っていったりとか、そういう現実があるんです。なので、計画にも文章化してもらってあるので、これが現実的にきちんとできて、市民の味方になるような方向というか、実施していけるように、自分も見守りながら、参加しながらやっていきたいなと思

います。

【佐々木委員】

- ・ 本場に事務局の皆さん、いいものをつくっていただいて、ご苦勞があったかと思えますけれども、ありがとうございます。普段銀行で仕事をしていますので、一言だけ申し上げますと、やはり事業者の皆さんというのは、今、人手不足というのを本当に深刻に考えてみえます。どこへ行っても、人がいないということがよく言われますので、やはり今回の計画でも、人を増やしていこうとか、減らないようにしていこうという視点もあったかと思えますので、ぜひいなべ市を盛り上げていただいて、人がいないとどうしても衰退していくと思えますので、それに向けての会議だったというに個人的には捉えておりますので、ぜひそういう働きかけをしていただければというふうに思います。あとは事業承継、後継者問題というのも非常に大きいトピックスとして挙がっております。やはり人が減っていくと事業所も減っていく、そうすると市の税収も減っていくということで、ここら辺というのは、市で何がしていただけるのかというのがありますけれども、銀行でもつないでいくという仕事をさせていただいておりますので、ぜひそこら辺も共同できればなというふうに思います。最後に、個人的にですが、いなべはすごくいい町で、すごいポテンシャルがあるんじゃないか、特に農業とか、これから多分ものすごく僕は大事になってくるんじゃないかなと思います。米不足であったり、異常気象であったりとか、これだけ土地があるところですので、そういった自給自足ではないですけれども、そういう観点というのは非常に重要な個人的に思っています。将来、よい古民家でもあれば住んでみたいなと思えるように、頑張っていっていただければと思っていますので、よろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

【企画部長】

- ・ いろいろとご意見をいただきましてありがとうございます。今年度の会議は今回が最後となります。委員の皆様方、本当に長期間ありがとうございました。来年度は、基本計画の策定に着手をしていきます。改めて御案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございます。以上をもちまして、令和6年度第6回、いなべ市総合計画審議会を閉会させていただきます。ありがとうございます。

その他事項

- ・ 無し